

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

子どもの歌と表現Ⅰを踏まえ、現場で必要とされる子どもの歌を課題曲とし、子どもの姿を具体的にイメージしたり、子どもが歌の楽しさを感じるような表現活動を含めて指導する。授業形態は、子どもの歌と伴奏法Ⅰと同様、全体授業とグループ別個人レッスンを並行して行う。全体授業では、秋～冬にかけての季節の歌、生活の歌、行事に関する歌等、主に八長調以外の曲を課題として扱う。各教員の、演奏者、子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導としての経験を生かし、授業内では、歌唱及び伴奏法に関わる事柄についても指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス へ長調、ト長調、二長調のコード付けの考え方	
第 2 回	(全体授業) コード演習「虫の声」	(個人レッスン)
第 3 回	(全体授業) 「ぞうさん」	(個人レッスン)
第 4 回	(全体授業) 「どんぐりころころ」	(個人レッスン)
第 5 回	(全体授業) 「とんぼのめがね」	(個人レッスン)
第 6 回	(全体授業) 「やまのおんがくか」	(個人レッスン)
第 7 回	(全体授業) 「バスごっこ」	(個人レッスン)
第 8 回	中間実技試験・講評及び解説	
第 9 回	(全体授業) 「まっかな秋」	(個人レッスン)
第 10 回	(全体授業) 「もみじ」	(個人レッスン)
第 11 回	(全体授業) 「いるかはざんぷらこ」	(個人レッスン)
第 12 回	(全体授業) 「雪」	(個人レッスン)
第 13 回	(全体授業) 「雪のペンキ屋さん」	(個人レッスン)
第 14 回	(全体授業) 「お正月」	(個人レッスン)
第 15 回	(全体授業) 「たきび」	(個人レッスン)
第 16 回	実技試験	

到達目標

- ・曲を理解し、子どもの姿をイメージして弾き歌いができる。
- ・ト長調、へ長調、二長調の課題曲について、暗譜で弾き歌いができる。
- ・ト長調、へ長調、二長調の課題曲について、簡単なコード伴奏をつけることができる。

履修上の注意

- ・演奏の妨げにならないよう、爪を短く切ること。
- ・授業簿に練習状況を記入し、レッスン時に提出すること。
- ・「子どもの歌と伴奏法Ⅰ」履修者が望ましい。

予習・復習

- ・必ず、自主練習を行い、レッスンに臨むこと。

評価方法

- ・実技試験 50%、提出物及び課題の取り組み 30%、練習状況及び受講態度 20%を総合して評価する。

テキスト

- ・教科書名：『改定ポケットいっぱいのおた』
- ・著者名：鈴木恵津子, 富田英也
- ・出版社名：教育芸術社
- ・ISBNコード：978-4-87788-485-7
- ※その他、適宜資料を配布する。